8月9日（日）「波音とともに紡ぐ音楽の一日」浪板海岸ヴィレッジ海音フェスタ開催

今年で開設10周年という大きな節目を迎える浪板海岸ヴィレッジで「海音フェスタ」が開催されました。

大槌学園吹奏楽部の演奏から始まり、楽団ともしびやキッズコーラスあぐどまめなど町にゆかりのある団体が出演。心に響く合唱や多彩な楽器による迫力ある演奏を披露しました。客席からは温かい拍手や歓声が湧き起こり、会場全体が大きな感動に包まれました。

同施設を拠点に音楽を通じた子どもたちの居場所づくりに取り組む一般社団法人槌音代表理事の臺隆明（だいたかあき）さんは、「これからも浪板ヴィレッジで大槌の子どもたちと音楽を育てていきたい」と、未来へ向けた熱い思いを語りました。

8月23日（日）「ミズアオイ観察会」貴重な植物を観察してみよう

須賀町にある郷土財湧水活用エリアで、希少種の「ミズアオイ」を観察する会が行われました。大槌高校はま研究会の生徒など、約20人が参加し、美しく青紫色に開花したミズアオイを見て触りました。後半はおしゃっちで、ミズアオイを食べる歴史文化について学び、実際に食材として味わってみるなど、五感で楽しみながら、夏の自由研究にうってつけの機会となりました。

ミズアオイを使った
おにぎりと天ぷら

8月1日（土）「夏祭り　よ市」雨なんて気にしない！

末広商店街が歩行者天国になる１日。雨に見舞われたが、餅まきや演奏・フラダンスなどのステージイベントが始まると、みんなで濡れながら大量の餅をゲット！

出店でお腹を満たした後は、陽気な音楽に合わせ、水しぶきをあげながらダンサーと町民が一緒になって踊りを披露したりとにぎわいを見せていました。

8月2日（日）「ビーチ de かけっこ教室」海を守る心を身に付けよう！

多目的会議室（役場隣）で、吉里吉里海岸海水浴場のブルーフラッグ認証２年連続取得を記念して、海の環境や安全、スポーツについて一度に学べる体験イベントを開催しました。海に興味・関心がある親子が参加し、宮古市から訪れた宮澤唯（みやざわゆい）さんは、「海はとっても楽しくて気持ちいい場所だから、汚したりしないで自分に合った遊び方をしたいです」と語りました。

宮澤さんは、９月に千葉県で行われる全日本ジュニアライフセービング選手権に出場予定で、「今日学んだ速く走る方法は、人命救助につながる技術なので大会でも生かしたい」と意気込みました。

8月8日（土）「第３回吉里吉里横丁」＆社会福祉法人堤福祉会50周年

第３回吉里吉里横丁と併せて堤福祉会50周年記念セレモニーが開催されました。

セレモニーでは芳賀潤（はがじゅん）理事長、芳賀陽一（はがよういち）前理事長などがこれまでの法人活動や今後の発展について述べるとともに、参加した地域住民やお盆で帰省中の人に、祭りを通した交流を楽しんでもらうよう話しました。

イベントでは、つつみこども園の園児によるソーラン節の発表や吉里吉里地区の郷土芸能の演舞披露、ラストには打ち上げ花火が上がり、会場は雨を忘れるほどのにぎわいを見せました。

帰省中の参加者からは、「伝統や昔からの建物などが残り続けることは素晴らしい。（遠方から）戻ってきたときに知り合いや家族と過ごせる場所とか行事があってうれしく思う」と語りました。